

第2回市議会（定例会）議案の審議結果表

	議案など	西川健三	乃美晴一	児玉朋也	北林隆	山田晟彰	山崎年一	細川雅子	日域究	上野克己	寺岡公章	原田博	二階堂博	広岡巧	田中実穂	岡部健三	山本孝三	審議結果
議案第14号	訴えの提起について	—	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	原案可決
決議案第1号	議案14号訴えの提起についてに対する付帯決議	—	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	原案可決
議案第41号	大竹市消防団員の定員、任免、給与、服務に関する条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	原案可決
議案第42号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	—	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	欠席	○	原案否決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。 —:議長 ○:賛成 ●:賛成でない

請願・陳情・意見書

●TPP交渉に関する意見書の採択を求める陳情

—継続審査—

●安心・安全な公共事業を推進するため、地方建設業界の存続・発展と国土交通省の事務所・出張所及びダム管理所等の拡充・存続を求める意見書の採択を求める陳情

—継続審査—

●地方財政の充実・強化を求める意見書について

東日本大震災によって、東北・関東では多くの自治体が甚大な被害を受けた。今後は、自治体を中心となった復興が求められる。地方自治体が果たす役割は重要となっており、2012年度の地方財政予算全体の安定確保に向けて必要な対策を求める。

—採択—

●公立学校施設における防災機能の整備推進を求める意見書

（提出先 内閣総理大臣・文部科学大臣・国土交通大臣・総務大臣）

「岩国大竹道路対策特別委員会」中間報告

本特別委員会は、国道2号の岩国大竹間の渋滞解消に向け、国の直轄事業である岩国大竹道路建設事業に伴う諸問題を解決することを目的とし、平成15年9月に設置されました。

これまでの審議の経過と現在の状況についてご報告申し上げます。

本事業は平成17年から用地買収に着手し、平成21年8月末で、面積で31・8%、契約金額では45・5%の進捗率でした。買収予定地はトンネル坑口予定近くの御園台地区から黒川1丁目地区です。当該地には複数の商店が含まれ、移転先となる晴海の第一公園の宅地整備については、近隣の地域の皆様や公園利用者に十分配慮した開発となるよう、慎重に審査して取り組んで参りました。

また、代替地として用意した晴海1丁目分譲地については、平成21年12月の委員会でも、申し込み資格を緩和し、さらに、平成22年3月の委員会では、一般への分譲も行っているとの報告がされています。平成23年4月時点で45区画中21区画が分譲済みですが、早期完売にむけて更なる努力が求められます。

平成23年度は東日本大震災の影響で、財源の確保が懸念されていますが、現在のところ減額の連絡は無し

いとの報告です。

本特別委員会において、元町地区の地図訂正、市営住宅御園2号棟、3号棟の移転と整備、道路の設計とまちづくりの関係など懸念事項が指摘されていますが、今後も事業の長期化に伴い様々な問題が生じることが予想されます。

本事業は、小方地区のまちづくりとは密接な関係になることから、まちづくり対策特別委員会の審査と並行しながら進めた審査もありました。審査にあたっては、不安を抱えていると思われる多くの地権者や立ち退き者の立場を尊重してまいりましたが、この2年間、私ども10名の委員に賜りました市当局をはじめとする関係各位のご協力に對しまして、心より感謝申し上げます。

岩国大竹道路対策特別委員会

委員長 細川雅子
副委員長 児玉朋也
西川健三 日域 究
上野克己 寺岡公章
二階堂博 広岡 巧
岡部健三 山本孝三

「安心安全対策特別委員会」 中間報告

大竹市議会では、平成20年9月議会におきまして、安心安全対策特別委員会を設置し、安心安全対策の一環である再編交付金関係の事業について議会の意思を確立させていく事としました。

本特別委員会は平成21年9月議会以降、21回の会議を開催してきました。今定例会までの本特別委員会における協議の過程をご報告申し上げます。

まず、前委員長の下、委員各位および委員外議員から提案、プレゼンテーションされた事業24項目について、委員相互で質疑応答を繰り返し、各提案に関する委員の共通認識を図りました。次に委員個々の判断を数値化したワークシートを作成して、先の24項目から優先的に検討する5項目まで絞り込み、その後、委員同士の討議を重ねて事業の成熟度を高め、委員会の総意としての企画書及び意見書としました。

平成22年12月議会において、本会議に4件の企画書と2件の意見書を添付し、再編交付金使途事業計画に関する決議文を提出、ご承認をいただき、市長に対して議会の意思を公式に表明するに至っております。

今後の運営につきましては、市民

の安心・安全対策について十分な協議を行うために設置されたという本特別委員会の趣旨と、決議文の内容、協議の過程を踏まえまして、次期特別委員会に引き継ぎたいと考えます。

以上、本委員会での積極的な議論にご協力いただいた委員、議員各位、さらには市長をはじめとする執行部各位のご協力に心より感謝を申し上げます、皆さまへのご報告といたします。

○企画書

住宅取得助成制度1
住宅取得助成制度2
妊婦さん通院補助
学校給食無料化

○意見書

小児医療施設の充実
西医療センターの充実

安心安全対策特別委員会

委員長 寺岡公章
副委員長 山田晟彰
乃美晴一 北林 隆
山崎年一 細川雅子
日域 究 上野克己
原田 博 田中実穂

「まちづくり対策特別委員会」 中間報告

まちづくり対策特別委員会にとりましては、昨年12月定例会において中間報告を行っておりますので、その後の状況のみにとどめさせていただき、ご報告とさせていただきます。

まずは、「晴海臨海公園」につきましては、ゾーニングの設定後、執行部より基本構想の説明を受けております。

基本構想では、上位計画に第五次総合計画、都市計画マスタープラン、地域防災計画などを挙げ、これらの計画や、地域の要望などから、キーワードを見つけ、5つの基本方針を導きだしています。これらの方針を実現するための主な導入施設としましては、野球場、テニスコート、多目的広場、管理棟などであり、ゾーニングに従い配置をし、整備されていく構想でございます。

「地域のまちづくり」については、試行錯誤の結果、大竹駅周辺に高い優先順位があるという結論に至りました。

大竹駅周辺に関して、これまでの会派からの意見、また、協議の過程において委員から発言された意見については、「土地の利用」「利便性」「駅舎」と3つに分類することができま

これらの意見は財政的な問題は考慮されていませんが、各委員が地域での活動や、生活の中で捉えた意見として、大竹駅周辺において何が必要なのかを表していると考えることができま

当委員会では、設置当初から「政策を提案する」ということを目標として運営してまいりました。結果として、政策を提案するに至りませんでした。が、これまで当委員会に提案されました様々な意見は、「今後の役に立てば」との思いから中間報告書にまとめ、議長に報告をいたしております。

最後に、私ども8名の委員に対しまして賜りました各議員、執行部のご協力に心より感謝を申し上げますとともに、今後のご協力についてもお願い申し上げます。

まちづくり対策特別委員会

委員長 上野克己
副委員長 寺岡公章
乃美晴一 児玉朋也
日域 究 広岡 巧
岡部健三 山本孝三